

今月の症状



# 突発性難聴

Sudden Deafness

ある日突然、片耳が聞こえなくなる突発性難聴は、40~60代に多い病気です。年間の国内の発症患者数は3万~4万人と推定されていますが、軽度なものも含めると、その何倍にも上るとの推測もあります。命にかかる病気ではありませんが、治療の好機を逃すと、回復が見込めないという怖い点も。笠井創先生に詳しく教えていただきました。

取材・文=松田慶子 イラスト=福々ちえ

## Question 1

## 突発性難聴とは？

突然起こる原因不明の、難聴。  
片側の耳に起こる

難聴とは文字どおり、聞こえない、または聞こえない状態のこと。このうち、主に内耳の神経が障害されることで起こる難聴を感音難聴、外耳や中耳、鼓膜の障害によって起こる難聴を伝音難聴と呼びます。突発性難聴は感音難聴の一種です。ただし内耳の神経にどのような障害が起きているのか、発症のメカニズムはよくわかつていません。突然起ころうの原因不明の高度な感音難聴というの

が、突発性難聴の診断基準です。ほとんどの場合で、症状は片方の耳に出現します。典型的な症状は、耳鳴りとともに、聞こえの悪さで、めまいとともに程度の軽症から、まったく聞こえない、という重症ケース、高音や低音など特定の音域だけ聞こえない高音難聴・低音難聴、耳が詰まったような違和感を覚える人、逆に難聴以外はまったく無症状の人などさまざまです。突然起ころうのままでも、多くの患者さんは、「朝起きたら異常に気づいた」と訴えます。ヘッドホンで音楽を聞き、左右の音の違いから気づくことも。高音難聴や低音難聴の場合、会話に支障がないため、あるとき「いつの間にか症状があつた」と気づくこともあります。

以前は40代、50代が好発年齢といわれていましたが、近年は高齢化にともない高齢患者も多く、さらに10代、20代の患者も珍しくありません。年間の国内の発症患者数は3万~4万人と推定されますが、気づいていない人、未受診の人も合わせると、患者数はその何倍にも上ると指摘されています。

教えていただいた方は

笠井創先生

かさいはじむ／笠井耳鼻咽喉科クリニック自由が丘診療室院長。千葉大学医学部卒業。同大学耳鼻咽喉科学教室入局後、同大学病院手術部麻酔科、千葉労災病院耳鼻咽喉科での研修を経て、君津中央病院耳鼻咽喉科医長、国立がんセンター病院頭頸部外科医員、横須賀共済病院耳鼻咽喉科医長を歴任。平成11年、東京の自由が丘に同クリニックを開設。



## 受診の目安は?

2週間以内がポイント。気づいたらすぐ受診を

**突発性難聴**も突然起くる病気です。軽症の場合、自然に治ることもあります。また発症から1週間に治療を開始すれば、多くのケースで聴力は回復します。しかし2週間以上放置してしまって、症状が固定してしまいます。治療してもあまり効果が得られません。1か月以上経つと、改善はほとんど見込めなくなってしまいます。早く治療を開始することが非常に大事です。

まれに突発性難聴と診断されても、半年や1年後に自然に回復している人もいます。これは聴覚障害を起こすメニエール病など、ほかの疾患が紛れ込んでいる可能性があります。たとえばめまいとともに突発性難聴は治りづらいのですが、初期にはメニエール病と区別できないことがあります。メニエール病と突発性難聴は内耳の疾患ということで鑑別が必要です。病状を悪化させないためにも、早期に受診することが重要です。めまいは数日で消えますが、耳鳴りはずっと残ることがあります。聞こえ方に違和感があり耳鳴りがするようなときは、迷わず耳鼻咽喉科に行きましょう。

## 診断と治療の進め方は?

聴力検査が診断の要  
治療はステロイドが中心

**医療機関**では難聴の現れ方や聴力検査結果、外耳や中耳、鼓膜の状態から診断します。医療機関によつては、聴力検査を省略したり、簡易検査で済ませたりすることがあります。が、それでは高音難聴や低音難ります。ステロイド剤で炎症を抑え、血液循環を改善させるのです。軽症、中等症で1週間以内の治療開始なら、3~5日で聴を見逃しやすいため、幅広い音域の聞こえ方を調べる標準聴力検査を受けることが勧められます。かかりつけの耳鼻咽喉科で受けられない場合、ほかの医療機関を探すこと必要かもし

れません。ちなみに一般的な健診断も簡易検査です。治療の柱はステロイド剤の内服や点滴、耳の中への注射になります。内耳炎、外耳道真菌症、外耳道狭窄、外耳道腫瘍ほかの疾患があります。重症の場合は、ステロイド剤を数日投与しても改善が見られない場合は、安静にするため、入院することになります。

### 主な感音難聴と伝音難聴

#### 感音難聴

突発性難聴=本文参照

老人性難聴=加齢による蝸牛による蝸牛という器官の細胞の機能低下

メニエール病=内耳にリンパ液が溜まり聴力や平衡感覚に異常をきたす

音響外傷=騒音性難聴、ヘッドホン難聴、急性音響性難聴とも。

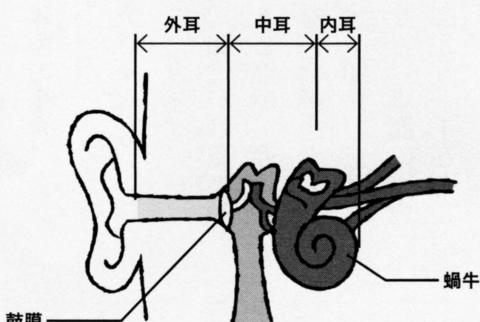
大音響を長時間聞いたことによる難聴

その他、ダイビングや耳を打った、力んだ拍子に起こる外リンパ瘻、内耳炎などでも難聴をいたします

#### 伝音難聴

外耳疾患=耳垢栓塞、外耳道異物、外耳炎、外耳道真菌症、外耳道狭窄、外耳道腫瘍ほか

中耳疾患=鼓膜穿孔、耳管狭窄症、急性・慢性中耳炎、滲出性中耳炎、航空性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳管開放症ほか



# 突

発性難聴に、再発はありません。再発した場合、何らかの原因によるものなので、突発性難聴とは診断されないのであります。

あくまでも原因不明の難聴なだけに、予防することはできません。ただし発症した人の話を聞くと、ストレスや疲れ、寝不足などが引き金になっていることが多いようです。40代、50代という働き盛りに多いのは、そのせいではないとも考えられます。したがって、疲れやストレスを溜めないことが、予防につながるといえるでしょう。

耳の健康を保つ生活上の工夫や食品もとくにありませんが、タバコは禁物です。血流を悪くす

## Question 4

### 難聴を避ける生活は？

#### 大音量は注意！違和感があったら耳鼻科へ

るので、耳の健康も阻害します。また、昨今はヘッドホンやイヤホンで音楽を聞きつづける人も多いのですが、大音量を長時間にわたり聞きつづけると、耳に大きな負担がかかります。音響外傷、あるいはヘッドホン難聴といい、一時的に難聴になってしまふ人もいます。これを何度も繰り返すと、早く老人性難聴になってしまふという説もあります。

音楽を聞くときは大音量にしがちですが、ときどき音を消して、静かな場所で耳を休ませることを心掛けましょう。そして聞こえ方に異常を感じたら、すぐにおいてほしいものです。

#### 突発性難聴チェック表

- ① 朝起きたら、どちらかの耳が聞こえない
- ② 左右どちらかの耳で、電話の声が聞き取りにくい、聞き返してしまう
- ③ 突然、どちらかの耳で耳鳴りがする
- ④ 耳鳴り、聞こえにくさに、めまいがともなう
- ⑤ ヘッドホンで音楽を聞くと、どちらかの耳だけが聞こえづらい
- ⑥ 睡眠不足が続いたり、疲れが溜まっていたりするなかで、聞こえにくくなったり
- ⑦ 仕事や人間関係で強いストレスを感じているなかで、聞こえにくくなったり

※笠井創先生への取材を基に作成

思い当たる項目のある人は、できるだけ早く耳鼻咽喉科に相談しましょう。めまいの多くは2~3日で消えます。耳鳴りは長く続くものの、数日のうちに慣れてしまい、意識しなくなってしまいます。いずれも気づいたらすぐに受診すること。また、静かな場所に行くと、耳鳴りに気づく人もいるようです。高音難聴の人はキーンという高音の耳鳴りを、低音難聴の人はゴーという低音の耳鳴りをともなう傾向にあるとも。